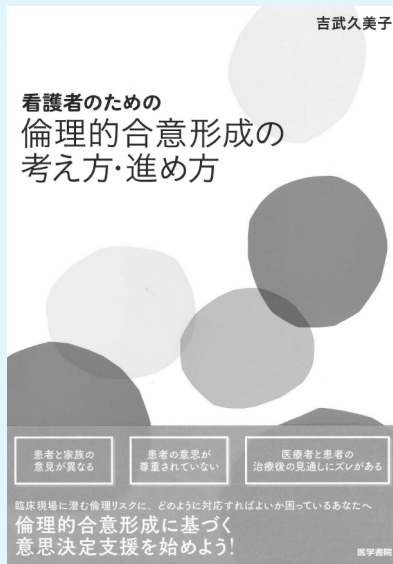




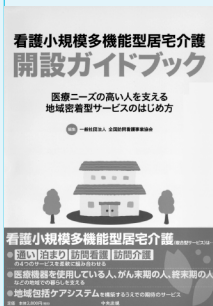
看護者のための 倫理的合意形成の 考え方・進め方

吉武久美子＝著
本体 2400 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5600

「患者と家族の意見が異なる」「患者の意思が尊重されていない」「医療者と患者の治療後の見通しにズレがある」――。患者の意思や自律を尊重するという倫理原則は理解しているし、このままの状況では倫理的問題が起きそうなのにも気づいている。でも、実際にどのように対応すればよいかわからない。そんな医療者必見! 倫理リスクへの対応力を高められる1冊だ。

看護小規模多機能型居宅介護 開設ガイドブック

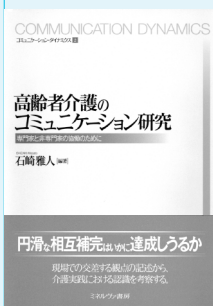
全国訪問看護事業協会＝編
本体 2800 円＋税
中央法規出版 ☎ 03-3834-5817



地域包括ケアの理想形といわれる「看護小規模多機能型居宅介護」(以下、看多機)。看護と介護が連携し、通い泊り、訪問で医療ニーズの高い人の退院から看取りまでを支える複合型サービスだ。本書は看多機の魅力、サービス内容と効果、開設準備から事業開始までの流れを、豊富な事例やQ&Aを交えて指南する。

高齢者介護のコミュニケーション研究 専門家と非専門家の協働のために

石崎雅人＝編著
本体 5000 円＋税
ミネルヴァ書房 ☎ 075-581-5191



本書は、介護過程におけるコミュニケーションや、介護を取り巻く状況で発生するコミュニケーションについて、「多職種連携」「専門家と非専門家の場づくり」「専門家の実践」といった点からの論考を集めたもの。とりわけ事例に基づく介護場面でのコミュニケーションの考察は、介護に関する新たなとらえ方を生み、新たなコミュニケーションのあり様を浮き彫りにする。

認知症ケアのための家族支援 臨床心理士の役割と多職種連携

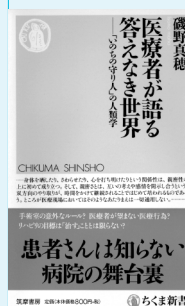
小海宏之・若松直樹＝編著
本体 1800 円＋税
クリエイツかもがわ ☎ 075-661-5741



認知症の人への介護負担度の高い家族はうつ病になったり、共倒れになったりするリスクがある。そんな家族を取り巻く環境を、多様な価値観や関係性から臨床心理士が解説。また、多職種の自らの専門性を活かした支援を明らかにし、他職種との違いを描き、支援の幅を広げる。

医療者が語る答えなき世界 「いのちの守り人」の人類学

磯野真穂＝著
本体 800 円＋税
筑摩書房 ☎ 048-651-0053



医療者は、自ら出会う医療現場の不確かさをどのように考え、感じているのだろうか。本書は、文化人類学者が患者の知らない医療者の声を丹念に聞いて描いた8つの物語を収載。終末期医療への疑問、手術室の不思議なルール、エビデンスと漢方新薬の意義など、医療ケアに携わる各職種の抱く懸念や苦悩が明らかに becoming clear.